

# 公民館報

No. 87  
(2019 / 9 / 1)

# くしもと

編集・発行：教育課  
串本町串本2427番地  
TEL 0735-62-0006 / FAX 0735-62-6023



## 表紙文化財紹介

えるとーるるごうじけんかんれんいせきぐん  
エルトゥールル号事件関連遺跡群

県指定文化財 記念物(史跡)

昭和34年指定  
平成27年追加指定

今月の表紙はエルトゥールル号事件関連遺跡群です。

元々は、トルコ軍艦遭難者墓地(写真右上)のみが昭和34年に県史跡に指定されていましたが、エルトゥールル号が衝突した岩礁「船甲羅(写真右下)」、遭難者が流れ着いた「遭難者上陸地(写真左上)」、負傷者の手当が行われた「檜野埼灯台旧官舎(写真左下)」が平成27年に追加指定され、名称を「エルトゥールル号事件関連遺跡群」と変更しました。

エルトゥールル号事件はトルコにおいても語り継がれ、日本とトルコの友好の架け橋となった事件です。



# 町民総合展開催

「開催要項がごまじり」

第15回町民総合展の開催要項ができました。この総合展は、串本町の文化・芸術の祭典であり、毎年様々なジャンルの工夫をこらした作品が多く出品され、鑑賞者を楽しませてくれています。

今年も開催に当たり多くの出展とご協力をよろしくお願いいたします。

## 会場及び部門

- 串本町立体育館  
生花、盆栽、工芸、俳画、俳句短冊、手芸、書、各公民館出展コーナーほか
- 串本町文化センター  
絵画、写真、特別展示（未定）

## 出品手続

- ①所定の出品申込書に記入の上、10月4日（金）午後5時までに串本町教育委員会教育課（串本町文化センターまたは古座分庁舎2階教育課）に申し込んでください。
- ②作品は原則として他の展覧会に出品したことのない自作品に限ります。

## 主催

串本町教育委員会

## 日程

11月8日（金）～10日（日）  
午前9時～午後4時30分

## 応募資格

- ①串本町に住所または本籍を置く人。
- ②串本町に勤務する人、または在学する人。
- ③串本町内のグループに所属する人。

## 規格

- ①書は表装共高さ2.1メートル以内、幅は全紙までとします。
- ②絵画は100号以内とし、額装とします。（申込書に号数記入）
- ③立体作品（生花除く）は重量50キログラム以下とし、間口、奥行き共1メートル以内とします。
- ④生花は、間口、奥行き共1メートル以内とします。



昨年の町立体育館展示の様子

## 点数

- ⑤写真は、パネル張平面作品または額装とし、単写真は四つ切りから全紙まで、組写真は縦横1メートル以内とします。
- ⑥パッチワークは、1メートル以内とします。なお、大きい作品は折り畳んで展示します。
- ⑦会場汚損等他の展示作品の妨げとなる作品は除外します。
- ⑧その他主催者において不相当と認めるものは受け付けません。

## 点数

原則一人2点以内（但し、部門別とし、俳句部門は1点とします）  
なお、展示スペースの都合により、一人当たりの作品点数が増減する場合がありますので、ご了承ください。

## 搬入

①11月7日（木）午後1時から午後7時までの間に会場に搬入してください。

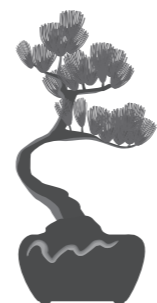
※原則として時間外の受付は行いません。当日都合の悪い場合は、前日に教育課（串本町文化センター内）までご持参ください。詳しくは、教育課にご相談ください。

## 搬出

11月10日（日）午後4時30分から会場より搬出してください。  
※時間になるまでは行わないでください。

## その他

- ①搬入作業は慎重に取り扱いますが、不慮の損傷についてはその責を負いません。
- ②陳列等については、主催者及び運営委員に一任すること。
- ③出品申込状況により、展示場所を変更する場合があります。
- ④規定の期日に搬出されない作品は、適当に処分することもあります。
- ⑤その他、運営上疑義が生じた場合は、運営委員会において協議の上決定します。



# 第五福竜丸 ビキニ核実験被爆65年の歴史展

8月6日から11日の期間、被爆65年の歴史展実行委員会主催、串本町教育委員会後援で第五福竜丸ビキニ核実験被爆65年の歴史展を串本町文化センターで開催しました。

串本町古座でカツオ船第七事代丸として古座川河口の古座造船所で造られ、その後マゲロ船に改造され、後の所有者により名を改めた第五福竜丸が、ビキニ環礁で行われた水爆実験にて被爆して65年目にあたります。期間中、串本町文化センターにてパネル展、映画「放射線を浴びたX年後2」の上映会、太平洋核被災支援センター山下正寿事務局長を招いての講演会を行うなど、ビキニ事件をきっかけとして、その歴史や背景を風化させることなく後世に語り継ぐためのイベントを実施いたしました。全イベントを通じて延べ373名の方が来場しました。



建造中の第七事代丸

## パネル展示

8月6日から11日まで、串本町文化センター2階ホワイエにて、「第五福竜丸建造の歴史」、「汚染マゲロの被害について」、「ビキニ水爆被災船と慰謝料について」、「核兵器禁止条約とその後」等についてパネル展示を実施。写真や新聞記事、調査資料、山下正寿さんに提供していただいた資料等約70点を展示しました。第五福竜丸以外の被ばく船にも焦点を当てた展示会となりました。



串本中学校の生徒も多数来場

## 「放射線を浴びたX年後2」 映画上映会



8月10日（土）串本町文化センター2階視聴覚室において、映画「放射線を浴びたX年後2」の上映会を開催しました。第五福竜丸以外の漁船の被ばくの実態を調査したドキュメンタリー映画で午前10時、午後2時、午後7時の3回上映を行い、延べ42人が映画を鑑賞しました。

## 山下正寿氏

### 記念講演会

8月11日（日）午前10時から串本町文化センター2階A会議室において、太平洋核被災支援センターの山下正寿事務局長が「ビキニ水爆実験と核兵器禁止条約」高校生と歩んだ34年間の実態調査と被災者救済の取り組み」をテーマに講演しました。山下さんは高知県宿毛市生まれで、1985年から幡高高校生ゼミナールの生徒たちとビキニ水爆実験被災者の聞き取り調査や被災者の掘り起こしに取り組んできました。現在は、元漁船員の健康相談や労災申請活動に取り組んでおり、ビキニ核被災検証会事務局長、ビキニ核被災国賠訴訟を支援する会共同代表などを務めています。

## 講師

太平洋核被災支援センター  
事務局長





# 東牟婁地方子ども会 ドッジボール大会



令和元年度東牟婁地方子ども会連絡会親睦スポーツ（ドッジボール）大会が6月29日（土）に串本町立体育館で行われました。

この大会はスポーツを行うことにより児童の心身鍛錬、精神力の高揚を図るとともに地域子ども集団の連帯性を培うことを目的に開催されています。

東牟婁地方の各市町村から7チームが参加し、総当たり戦を行いました。

熱戦の末、串西キッズAが優勝、潮岬bondsが準優勝、西向子ども会が3位となりました。上位2チームは8月24日（土）田辺スポーツパークで開催された、県大会へ出場しました。

## 【大会結果】

- 優勝 串西キッズA
- 準優勝 潮岬bonds
- 3位 西向子ども会



優勝 串西キッズA



準優勝 潮岬bonds



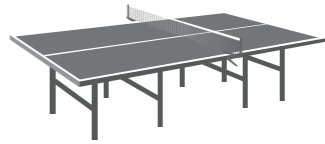
3位 西向子ども会

# 第15回串本町卓球大会



7月7日（日）串本町立体育館で、串本町教育委員会、串本町体育協会、串本卓球協会主催の第15回串本卓球大会が開催され、183名が参加し競技を行いました。

大会は、シングルの部、ダブルスの部があり、それぞれが1部（上級）から4部（初級）のクラス分けを行いました。



- シングルス1部 優勝 川口 富喜
- シングルス2部 優勝 松崎 守夫
- シングルス3部 優勝 寺井 梨華
- シングルス4部 優勝 榎山実千代
- ダブルス1部 優勝 小川 夏帆・川口富喜ペア
- ダブルス2部 優勝 山野上桂奈・大藪智美ペア
- ダブルス3部 優勝 加藤 綱男・山本佳子ペア
- ダブルス4部 優勝 芝 公士郎・小河佑樹ペア

# 第15回串本町ソフトテニス大会

7月7日（日）串本町総合運動公園テニスコートで、串本町教育委員会、串本町体育協会主催、串本町テニス協会主管の第15回串本町ソフトテニス大会が開催され、42名が参加し競技を行いました。

大会は、団体戦の部、個人戦の部に分かれ、ペア・チームは当日くじ引きで決定しました。

## 団体戦の部

- 優勝 ドキンちゃんチーム
- 松下智拓・直井洋輝・谷口浩一
- 前虎之朗・福田順子・巽江史

## 個人戦の部

- Aブロック（小学生） 優勝 田中翌夏・齋藤るなペア
- Bブロック（一般） 優勝 荒木良知・甲山航太ペア
- Cブロック（熟年・保護者） 優勝 谷口浩一・巽江史ペア



# 旧神田家別邸（稲村亭）

## 登録有形文化財登録へ

串本町串本897番地1にある旧神田家別邸（稲村亭）が7月19日（金）に開催された文部科学省文化審議会の審議・議決を経て、文化審議会から文部科学大臣への答申が行われました。今後、官報告示を経て、登録有形文化財として登録されます。登録有形文化財への登録は町内では檜野埼灯台旧官舎に続き2件目の登録となります。

登録有形文化財制度は、原則、建設後50年を経過した歴史的建造物のうち、国土の歴史的景観に寄与している、造形の規範となっている、再現することが容易ではないという登録基準によって国が登録する制度です。登録することで規制に強く縛られることはなく、例えば内部を一部改装し、ホールやレストラン、資料館などとして活用することもできます。事業の展開や地域の活性化のために積極的に活用しながら、文化財として緩やかに守ることができ、また修理や管理について国（文化庁）に技術的なアドバイスを求めることもできます。



第15回

# 串本町民大運動会

10月27日（日）

場所 串本町総合運動公園（多目的グラウンド）

※雨天の場合、11月3日（日）に延期します。

【主催】串本町・串本町教育委員会  
【お問い合わせ】教育課社会教育グループ  
TEL0735-62-0006





## 少年メッセージ2019 和歌山県大会

7月27日(土) 橋本市産業文化会館アザレアにおいて和歌山県青少年育成協会主催の「少年メッセージ2019和歌山県大会」が開催されました。

串本町からは先に行われた東牟婁郡予選において優秀賞に選出された、串本西中学校の深海六花さんと、西向中学校の岡野明音さんが東牟婁郡ブロック代表として出場しました。

力のこもった発表の結果、深海六花さんは銅賞に、岡野明音さんは入賞に選出されました。



## ジュニアリーダー研修会

7月6日(土)～7月7日(日)の2日間、和歌山県立潮岬青少年の家で串本町子ども会連絡協議会、串本町教育委員会共催による串本町ジュニアリーダー研修会が開催されました。

串本町ジュニアリーダー研修会は各地区で子ども会のリーダーとして活躍することを目指している小学生が一堂に集い、リーダーとしての知識や自覚、技能を身につけるとともに、相互の情報交換と親睦を深め、今後の活動を発展させることを目的に毎年実施されています。今年も串本町内の小学校4～6年生26名が参加しました。



## 姉妹都市青少年交流事業 トルコ訪問

7月21日から29日の間、姉妹都市青少年交流事業の一環として、串本町内の中学生7人が串本町の姉妹都市トルコ共和国メルシン市を訪問しました。

この事業は、日トの友好関係を深めることや、子どもたちの国際的な視野を広げることなどを目的に行われています。トルコの治安情勢の悪化を理由に中止が続いたため、今回の派遣は8年ぶりです。

派遣された生徒7人は、現地の一般家庭にホームステイしながら、トルコの文化や自然を体験。メルシン市内やイスタンブール市内などの観光も楽しみ交流を深めました。



イスタンブール空港にて

## 子ども図書館

### 「かんたん文庫」の紹介

7月10日(水) 潮岬公民館談話室に私設図書館「かんりん文庫」がオープンしました。お盆、祝日、年末年始を除く毎週水曜日の午後1時～4時にどなたでも利用できます。貸出は登録制で無料。一人5冊まで2週間借りることができます。

かんりん文庫では、絵本1300冊と読み物・知識の本・趣味の本など1200冊を所蔵しています。

世話人の梅崎百合子さんは、串本にあった「神林書店」初代店主の孫で、京都府八幡市の小学校で9年間学校司書として勤務後串本にUターン。潮岬小学校・中学校で読み聞かせも行っています。

子どもたちがすてきな本の世界と出会える、また、地域の大人と子どもたちが楽しく集える場所になれたらと利用を呼び掛けています。



## 灯台

私の住んでいる二色地区に川があるが、この川晴天が続くと川底が見え、雨が降ると水が流れる誠に正直な(?)川である。そのずっと上流に区の役員が毎日交代でお祈りしている赤松不動尊がある。そこに至るまでの道路は整備されているものの、途中両側から大岩がせり出している普通車では通過できない箇所や台風の後など小石が落下して道幅を狭くしている部分があったりする。私に当番が回ってきた時には、友人に頼んで軽トラックを借り、妹や甥と一緒に走ってもらうことにしている。

ほとんどの人が通らないので何となく心細さを覚える場所に社があるためもある。以前一度だけ、お参りに来られたご夫婦に出会ったことがあるが、途中で対向車に遭遇しても近くに避ける場所がない道が続く。

この赤松不動尊どうしてこんな所に祀られているのか不思議だったのだが、役員になって初めて代々区長に受け継がれてきた文書の中にその経緯が記されていることが分かった。



昔、二色奥西又一带の木材搬出の方法は道路なく、赤松滝の上流にダムを造築し、梅雨の季節に貯水して、この水を利用し木材を流したが、その都度、赤松滝の所で樹齢何百年の赤松の大木は傘の如く広がり谷一帯を覆い昼でも手元暗く、故に流木毎に赤松滝では怪我人絶えず、区民は皆恐れて二色区では木材搬出に困窮

当時の区長は約九十年前、串本村A氏(ここでは仮名にします)にこの赤松伐採方を懇請し、A氏もまた世の為人の為に



ならと引き受けたものの、近郷近在の木挽は皆恐れて一名の協力者も出現せず、やむなく紀北方面まで探し廻り、幸い湯浅村の若い木挽二名を雇い連れて来て赤松を伐採せり。

ところが、仕事終了のその夜、二名共大熱を発し、A氏の心痛一方ならず心配す。幸い熱病も治り湯浅に帰りたり。其の後一名は湯浅にて、一名は外国へ渡航中汽船の中で死亡するとう度重なる突然の出来事にA氏は自責のあまり日夜心痛し、その結果赤松の伐り跡へ赤松様と名称し社を建て祀る。これ赤松様の起因なり。

其の後、二色区長から起因は二色区にあり赤松様を二色区で祀りたい

旨の申し出ありしが、A氏は生涯自分の心の休まるように祀らせていたのだと回答し、区長区民もこれを諒承せり。

今から五十数年前、A氏はB氏に依頼、成田山新心寺から不動様を迎え祀る。以来「赤松不動尊」の名称となる。

歲月流れて、A氏死後、長女が後を祀り、長女死後は長男の妻が跡を祀り現在に至る。

しかしこの社も老廃甚だしく、信者より再建の要望高まり、依って世話人三名が中心となり広く各位の御寄附を仰ぎ、且つ親戚に連なる青年諸君の協力奉仕を得て、今後百年耐久目標の再建完成す。

従来お祈りしてきたB氏の家族から、代も替わったので区の方でお祈り願えないかとの申し入れがあり、昭和五十九年(一九八四)二月五日役員会で受託した。二色住民O氏から祭祀の申し入れがあり、区が依頼することになった。以来、O氏がお祈りしてきたが、平成七年(一九九五)四月に寄る年波で十分なお祈りができなくなったと申し入れがあり、役員会で協議した結果、月命日(二十八日)に役員が交替で掃除と献酬をすることに決定した。



以上の記録から「赤松不動尊」の由来が分かり、毎年役員会で祭祀の内容を確認しながら踏襲してきている。

三月の大祭には、和尚様をお迎えし、串本からお参りに来られた関係者と共に一同で般若心経を唱える。普段静かなこの地も、この時ばかりは人声がこだまする場所となる。

私達は次世代へバトンタッチすれば役目終了となるが、今後ますます少子高齢化、過疎化が進む中いつまで継承していつまでもらせるだろうと一抹の不安がよぎるこの頃である。

山本 ちづき



# 心 大会のご案内 枝

**第14回**

## 串本町俳句大会

**日時** 令和元年9月22日(日)  
出句 午後1時締め切り

**会場** 串本町文化センターA会議室

**出句数** 当季雑詠 5句

**予定** 午後1時 出句締切  
午後1時～3時 清句及び披講  
午後3時～4時 表彰

**参加資格** 俳句愛好者及び公民館講座生

**参加費** 無 料



**第15回**



## 囲碁・将棋大会

**日時** 令和元年9月8日(日)  
受付開始 午前9時00分  
対局開始 午前9時30分

**会場** 串本町文化センター  
A会議室(囲碁の部)  
B会議室(将棋の部)

**部門** 囲碁の部A級・B級  
将棋の部A級・B級

**参加資格** 串本町在住及び出身者・  
勤務者・町内小・中・高校生

**参加費** 無 料

**参加方法** 当日受付

# お知らせ

教育課からのお知らせです  
お問い合わせは  
串本町教育課 社会教育Gまで  
0735(62)0006

## 大人のためのおはなし会

**【お問い合わせ】**

串本町図書館

TEL 0735-62-4653

**【内容】**

串本町図書館よみかかせの部屋  
昔話・よみかかせ・朗読など

**【場所】**

令和元年11月2日(土) 午前10時から  
串本町図書館よみかかせの部屋

**【日時】**

串本町図書館では読書週間(10月27日～11月9日)にあわせて、図書の展示と「大人のためのおはなし会」を行っています。町民の皆様もお気軽に参加ください。



## 第19回和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会

### 参加者募集

**日時** 令和2年2月16日(日)  
11時00分スタート

**場所** 紀三井寺陸上競技場→和歌山県庁

**主催** 和歌山県・和歌山県教育委員会  
社団法人和歌山県体育協会

**対象** 小学校5・6年生  
中学校1・2・3年生

**申込締切** 令和元年9月6日(金)



昨年度は8位入賞